



ストーリー2

まちを守って土を耕した
屯田兵ゆかりの建物のおはなし


ストーリー2

まちを守って土を耕した
屯田兵ゆかりの建物のおはなし

このストーリー
にまつわる遺産

琴似屯田兵村兵屋

旧永山武四郎邸



屯田兵（とんでんへい）は、明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士のこと。明治8年～明治37年まで道内各地に37の兵村が作られました。最初に兵村が作られたのが現在の札幌市西区琴似です。

ストーリー2

まちを守って土を耕した
屯田兵ゆかりの建物のおはなし

琴似屯田兵村兵屋跡



地下鉄東西線「琴似」の近くに屯田兵村兵屋跡があります。昭和47年に復元された建物は、屯田兵の入植時の第133番兵屋が建っていた場所に建てられています。土間・囲炉裏などの様式が備えられ、今日の北海道の住宅とは大きな違いがみられます。当時の農具なども展示されていて屯田兵当時の屯田兵とその家族の生活の様子を垣間見ることができます。

ストーリー2

まちを守って土を耕した
屯田兵ゆかりの建物のおはなし

旧永山武四郎邸



屯田兵の創設に力を尽くし、「屯田兵の父」ともいわれる永山武四郎。旭川市で屯田兵第7師団を指揮し、永山の名がついた地名があることはご存知でしょうか。その武四郎の私邸が札幌市中央区のサッポロファクトリーの東側永山記念公園の中にあります。第2代北海道庁長官を務めた武四郎は、退官後上京して貴族院議員を務めました。明治37年に死去しましたが、遺言に従い遺骨は札幌に戻されました。

ストーリー2

まちを守って土を耕した
屯田兵ゆかりの建物のおはなし



◇アクセス情報◇

それぞれの建物にはまだまだ多くの物語があります。ぜひ訪れてみてください。

▶ 琴似屯田兵村兵屋跡・・・地下鉄東西線「琴似」下車、徒歩2分

琴似屯田兵村兵屋跡から旧永山武四郎邸は約30分

▶ 旧永山武四郎邸・・・地下鉄東西線「バスセンター前」下車、徒歩10分